

在宅医療市民講座開催 (平成27年7月4日)



和歌山県在宅医療連携拠点事業の一環として第2回在宅医療市民講座を開催しました。今回は那賀地区で在宅医療や在宅での看取りに取り組んでおられる安川診療所の安川修先生を講師にお招きし「自分らしく最後まで生きるために～在宅看取りから学んだこと～」というテーマで講演をしていただきました。『今や大多数の方が病院で亡くなるという時代になっています。訪問看護や介護保険もないような数十年前に在宅で看取られていて、今なぜ出来ないのでしょうか。それはこの数十年で看取るという文化を失ってしまったからではないのでしょうか。在宅で看取るために本当に必要なのはシステムや社会資源ではなく、避けては通れない死についてそれぞれが知り、考えることです』と、重くなりがちなテーマの中、時にユーモラスに話され参加者は終始リラックスした表情で耳を傾けていました。今後も当院では住民の方々への情報発信としてこういった場を設けることで、医療や福祉従事者だけでなく、地域全体で在宅医療を考える環境を構築出来るよう取り組んでいきたいと思えます。(於:有田市文化福祉センター)



今年も多職種参加の研究発表会を開催し、各部門・委員会から8演題の発表がありました。最優秀賞に腎センター中畑ひろ子看護師の演題「透析患者が人生の最終段階まで自分らしく生きるために～エンディングノートから考える第一歩～」が選ばれました。また、特別講演として当院、神経内科(毎週水曜日)、和歌山県立医科大学 神経内科 高真守助教を招いて「認知症の正しい理解とその対応」をテーマにお話し頂き、より一層認知症に対する知識を深める事が出来ました。(於:橘家)

第39回 桜ヶ丘病院研究発表会 (平成27年8月1日)



今年も多職種参加の研究発表会を開催し、各部門・委員会から8演題の発表がありました。最優秀賞に腎センター中畑ひろ子看護師の演題「透析患者が人生の最終段階まで自分らしく生きるために～エンディングノートから考える第一歩～」が選ばれました。また、特別講演として当院、神経内科(毎週水曜日)、和歌山県立医科大学 神経内科 高真守助教を招いて「認知症の正しい理解とその対応」をテーマにお話し頂き、より一層認知症に対する知識を深める事が出来ました。(於:橘家)

今年も多職種参加の研究発表会を開催し、各部門・委員会から8演題の発表がありました。最優秀賞に腎センター中畑ひろ子看護師の演題「透析患者が人生の最終段階まで自分らしく生きるために～エンディングノートから考える第一歩～」が選ばれました。また、特別講演として当院、神経内科(毎週水曜日)、和歌山県立医科大学 神経内科 高真守助教を招いて「認知症の正しい理解とその対応」をテーマにお話し頂き、より一層認知症に対する知識を深める事が出来ました。(於:橘家)

医師紹介

内科

うへだ ようこ
上田 陽子 医師



【経歴】
平成25年3月 金沢医科大学医学部医学科卒業
平成25年4月 和歌山県立医科大学付属病院にて臨床研修
平成27年4月 和歌山県立医科大学付属病院 第一内科 学内助教

平成27年の4月より、桜ヶ丘病院の木曜日内科外来を担当させていただいております、医師の上田陽子と申します。健康診断や一般内科を中心に診療をさせていただいております。6月末から新しい病院になり、私自身も気持ちを新たに頑張りたいと思っています。

有田市の皆様のお役に立てるよう、皆様の健康を守っていただけるように、医療スタッフの皆様と力を合わせて診療に当たりますので、これからもよろしくお願い致します。

内科

つじ ともや
辻 智也 医師



【経歴】
平成25年3月 和歌山県立医科大学医学部卒業
平成25年4月 和歌山県立医科大学付属病院にて研修開始
平成27年4月 和歌山県立医科大学付属病院 学内助教

平成27年4月より桜ヶ丘病院にて金曜日の内科外来を担当させていただいている内科医の辻智也と申します。この恵まれた環境で、地域の方々の温かみを感じながら勤務できることは大変嬉しいことでありますし励みにもなっております。

患者さん一人一人を大切に、コミュニケーションを密にすることによって「治療」と「予防」の両面から健康管理の手助けができるように、これからも努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

腎臓内科(腎センター)紹介

生活習慣病や糖尿病患者の増加に伴い、透析治療が必要となる患者さんは現在も増加しています。また、日本全体の高齢化に伴い、透析導入時年齢の高齢化・維持透析患者さんの高齢化も進んでいます。

当院では、そういった慢性腎不全の患者さんに対し、外来での保存期治療から透析導入・維持期まで継続した医療を提供し、また、透析導入後はシャント閉塞や狭窄などのシャントトラブルにも常時対応出来る体制をとっています。また、LDL吸着などのアフエーシス療法も行っています。

当院腎センターの透析施行ベッド数は37床で、月・水・金は午前・午後の2クールに加え、昼間仕事を持たれている方にも治療を受けていただけるよう夜間透析も実施しています。また、火・木・土は午前の1クールで治療を行っています。更に、透析患者さんが、生き甲斐を持った生活を送ることができるよう、また、クオリティオブライフ(QOL)の維持・向上を図れるよう、さまざまな悩み事の相談やご家族の方々への支援など



透析室

多岐にわたり対応しています。

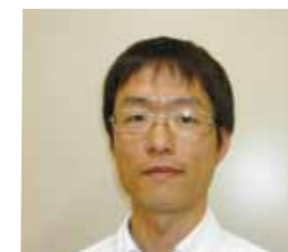
スタッフは、日本透析医学会認定医の常勤医師2名と正看護師・准看護師・臨床工学技士の計11名で、うち透析技術認定士の資格を有するスタッフは3名います。高度化する医療機器にも対応し、信頼度の高い治療・看護で患者さんに最適な治療が提供出来るよう、今後も、日々知識・技術の向上に努めたいと考えています。



腎センタースタッフ

神経内科

こう じんす
高 真守 医師

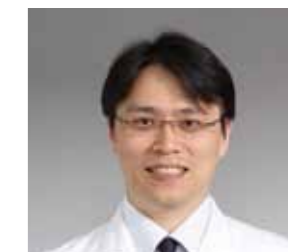


【経歴】
平成19年3月 和歌山県立医科大学卒業
平成19年4月 和歌山県立医科大学付属病院にて臨床研修
平成21年4月 和歌山県立医科大学 神経内科 学内助教
平成22年4月 和歌山労災病院 神経内科 嘱託医
平成23年4月 和歌山県立医科大学 神経内科 学内助教
平成27年4月 和歌山県立医科大学 神経内科 助教

平成27年4月から、桜ヶ丘病院にて水曜の午前診を担当しております、神経内科の高真守と申します。神経内科は認知症や神経難病から脳梗塞、頭痛、神経痛、筋炎などの幅広い疾患の診療を行っております。有田市ではまだ神経内科医が不足しているため、神経内科疾患患者さんの診療向上に少しでも手助けができるように微力ながら尽力させていただきたく存じます。これからも宜しくお願い申し上げます。

腎臓内科

おおや まさき
大矢 昌樹 医師



【経歴】
平成10年 3月 和歌山県立医科大学医学部卒業
平成10年 4月 和歌山県立医科大学付属病院 臨床研修医
平成16年 4月 和歌山県立医科大学付属病院 第3内科(腎臓)医員
平成16年10月 医療法人良秀会 藤井病院 腎臓内科医長
平成21年 4月 和歌山県立医科大学 腎臓内科・血液浄化センター 助教
平成25年 2月 和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座 講師
専門医資格 日本内科学会認定内科医
日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医・評議員
日本透析医学会 透析専門医

平成27年4月より毎週水曜日午前の腎センターで勤務させていただいております大矢と申します。この地域の血液透析患者さんの一助になればという思いで、診療させていただきます。よろしくお願い致します。